



立松新治 議員

鳥インフルエンザに どんな対策をしているのか

問 鳥インフルエンザ【】
等について聞く。

鳥類間で感染するインフル
エンザで、16年以來、全国
各地で発生している。

鳥から人への感染力は弱い
が、致死率は高い。人から人への感
染例、鶏肉や鶏卵を食べて人に感
染した例はない。

発生時は、発生農場の鳥類の殺
処分や、周辺養鶏業者の鳥類の移
動規制などが行われる。

- (1) 市の養鶏農家数、飼養
数、(発生時に影響を及ぼ
す可能性のある)半径10km
以内に何戸で何羽いるのか。
(2) 対策として(養鶏農家
は)、①人、車の消毒②野
鳥の侵入防止ネットの敷設
やネズミの駆除③飲料水の
消毒管理―など大変な努力
をしている。
市としてどんな対策を行
っているのか。
(3) 弥富野鳥園(Ⅱ湾岸弥
富IC南側に位置)はどんな

対策をするのか。

- (4) (農作物被害の原因は)
鳥類が最も多いと思うが、
米の苗の採食などで被害面
積が増加している。
その現況と対策を聞く。

養鶏農家に 石灰を配布した

答 農政課長

- (1) 市内に3戸の養鶏農家
があり、約3万2千500羽で
ある。

- 市で発生した場合の半径
10km以内の農家戸数と飼養
数は、鳥ヶ地地区で発生し
た場合は9戸で約8万3千
羽。稲元地区で発生した場
合は8戸で約6万3千羽。
鍋田地区で発生した場合は
3戸で約2万6千羽である。
(2) 3軒の養鶏農家に(消



- 毒効果がある)消石灰20kg
を各10袋、自己防衛として
使用するよう配布している。
万が一インフルエンザが
発生した場合、県が防疫作
業を実施する。150人態勢を
執ると聞いており、市へも
30人ほど協力要請がある。
市として発生農場の防疫
措置等に協力、支援をし、
24時間態勢を執るよう各課
へ協力依頼している。防疫
服は県より貸与されるが、
市も30着ほど購入予定であ

- (4) 毎年、麦、水稻の苗等
の被害面積が増えており、
苗は植え直す所もあると聞
いており、有害鳥獣は海部
南部猟友会に委託し駆除し
ている。
自己対策としてピストル
による雷管撃ち、ロケット
花火、爆竹等により対応し
ている。さらには対策研修
会等も行っている。
今後は、鳥獣被害対策補
助金の交付を国・県へ要望
していきたい。

る。

野鳥等の大量死
は市担当課で対応
するが、窓口は県
であり、簡易検査
は家畜保健衛生所
が行っている。

- (3) 関係者、来場
者に靴等の消毒を
行っていると聞い
ている。
(発生時は施設
を管理する)県と
連絡を取りながら
(対策を)行ってい
きたい。